「執行室制度」の取組み

社会福祉法人あいの土山福祉会
エーデル土山

廣岡隆之
TEXT BY TAKAYUKI HIROOKA

社会福祉法人あいの土山福祉会
エーデル土山

滋賀県甲賀市土山町

特別養護老人ホーム	60名
グループホーム	5名
ショートステイ	5名
デイサービス	30名
生活支援ハウス	5名
ケアプランセンター	

執行室とは？

執行室制度をはじめた経緯

- 計画性がなく、場当たり的な対応
- 自分のセクション以外の内容に理解乏しい
- 有能なスタッフの能力が狭い範囲でしか活用できない。
- 課題が多く何処から手をつけてよいかわからない。
- 施策に対する従業員の理解が得られない。

執行室制度の特徴

①プロジェクトチーム
②重要案件・具体的解決
③強い権限
④開催は不定期
⑤少数精鋭（５名以下）
⑥役職は問わない

①経営運営戦略室

①経営運営戦略室

- 中長期計画策定
- 毎月の収益の確認
- 全体的な法人の方向性を協議
- スタッフへ財務状況を説明
- 理事会等への説明資料

②人材確保対策室

②人材確保対策室

・いかに人材を獲得するか。

・いかに今いるスタッフを
　長く定着させるか。

③設備管理室

③設備管理室

・設備管理台帳

・設備保守契約等見直し

・防災に関する整備

・計画的な設備投資

④介護統括室

④介護統括室

・教育、ルールの一元化

・人材交流、相互理解

・情報、問題の共有

・人事異動、適材適所の把握

⑤トラブル防止・業務円滑遂行室

⑤業務円滑/遂行トラブル防止室

・方向性、計画を組織全員に
　わかりやすく説明。

・トラブル防止については早目に
　察知、大火にならないうちに
　対応する。

・異職種間の調整

⑥その他のポイント

⑥その他のポイント

・一般職員には『執行室手当』
　をつけ、責任と自覚を持たせる。

・資料や結果は必ず目に見える
　形で残して組織で共有していく。

・一般職員が入るとはいえ、やはり
　引っ張っていくのはリーダーである。

・今後のリーダー養成の場として教
　育としても活用できる。

⑦まとめ（課題と展望）

・顧問社労士、税理士等との連携
・わかりやすい資料、わかりやすい説明、わかりやすいビジョン
・具体的かつ明確なビジョンを示す
・ビジュアルイメージにこだわる

Edel Tutiyama.

Copyright 2011 Edel tutiyama All Rights Reserved.